

## 有識者意見の概要及び意見に対する対応

1. 調査研究課題名 事業目的別歳入債券の有効活用に関する研究	
2. 有識者意見の概要及び対応 有識者：関西学院大学 村尾信尚 教授	
意見の概要	意見に対する対応
<p>&lt;全体&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米国のレベニューボンド制度における各プレイヤーの役割や、「規律」「魅力」という観点からのわが国の現行制度（地方債、ミニ市場公募債等）とレベニューボンドの長所短所の比較など、全般的によく整理できている。</li> <li>・アメリカのレベニューボンドについて、掘り下げて分析したのは初めてであると思われ、貴重な研究内容である。</li> <li>・レベニューボンドの活用について、社会資本整備・運営の効率化の観点からよく整理されているが、プライスメカニズムによる個別事業の選別という観点からの活用についても検討すべきではないか。</li> </ul> <p>&lt;第2章について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PFIのタラソ福岡の事例だが、最終的に福岡市は、当初の予定よりも多くの支出をすることになったのか？その点を、明確に記述しておく必要があるのではないか。</li> </ul> <p>&lt;第3章、第4章について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別事業の選別という観点から、米国のレベニューボンドの活用事例について、資金が集まらなくて事業が中断した事例があったかどうかについても調査すると良かったのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の検討課題としたい。</li> <li>・最終的には、市民の営業譲渡で決着したので、支出の増加はなかった（対応した職員の事務コスト等は増大したようであったが）、ただし、営業譲渡先が見つからない場合は、市が買い取る事となっており、その場合は支出が増加するリスクがあった。その旨の記述は、御指摘を受けて修正を行った。</li> <li>・今後の調査課題としたい。</li> </ul>